



学校だより

平成30年 6月29日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.485

人の気持ちに寄り添う

副校長 横尾 康幸

先日、東京都教育委員会主催の人権教育研修会に参加しました。今回の研修会のテーマは、「犯罪被害者やその家族」で、16年前にご自分のお子さんを不慮の事故で亡くされた女性の方が講師をされていました。

講師のお話は、大事な家族を突然失った時、人はどのような気持ちになるかというところから始まりました。人によって違いはあると思いますが、失意の底に落ちてしまう人、生きる気力をなくしてしまう人、「もしもあの時、自分が～していたら…」と自分を責める人がいるとのことでした。

次に、そのような方が身近にいたら、どのように接していったらよいかということに話題が移っていきました。よく「がんばってください。」とか「辛いことは一日も早く忘れて、元気を出してください。」等の言葉をかけることがあります。どれも「よかれ」と思っている言葉です。しかし、これらの言葉が被害に遭われた方をさらに深く傷つけてしまう（二次被害）ことをよく知っておいてほしいと話されました。研修会の間じゅう、もし身の回りで起こったら、果たして自分はどのようにしたらよいかと、自問自答が続きました。

さて、今回は、「犯罪被害者やその家族」というテーマでしたが、人権課題には他にも「女性」「子供」「高齢者」「障害者」「同和問題」「アイヌの人々」「外国人」「HIV感染者・ハンセン病患者等」「インターネッ

トによる人権侵害」をはじめ、様々あります。学校では、子供たちが理解しやすいように、人権を尊重することとは、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」と教えています。

先ほどの話にもどります。「どのようにしたらよいか」ということについてですが、最終的には「その人の気持ちに寄り添って」かける言葉や接し方を考えていくことに尽きると思います。「言うは易く、行うは難し」ことですが、田二小の児童一人一人にこのような気持ちや態度がしっかりと育まれていくよう、道徳や特別活動等いろいろな場面をいかして、全校で取り組んでまいります。

今年のほたる観賞会も無事終了いたしました。2日間で、延べ人数で約4000人の参加者がありました。

観賞会の実施に当たりましては、保護者の皆様、地域の皆様に大変お世話になりました。この場をおかりしてお礼を申し上げます。

「夜の学校に子供たちが来る時、子供たちはとても嬉しそうな顔をして来る。その顔を見るのが楽しみで、毎年、手伝いをしているんだよ。」

これは、地域の方のお話です。

多くの方々の思いがあって行われているこの観賞会が、いつまでも田二小の恒例行事として続いていくことを願っています。